

都道府県教育委員会教育長殿
高等学校長殿
中学校長殿
国立大学附属学校長殿

平成 28 年 9 月 吉日

金沢大学グローバル人材育成推進機構 SGH 特区教育センター長 柴田 正良
金沢大学附属高等学校長 大谷 実

第 3 回 S G H 研究大会・第 2 6 回高校教育研究協議会ご案内

秋冷の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本校は、文部科学省が平成 2 6 年度から開始しているスーパーグローバルハイスクール (SGH) に指定され、本年度で 3 年目となりました。本校の構想名は、「北陸からイノベーションで世界を変えるグローバル・リーダーの育成」です。本構想では、北陸地域から高大連携によりイノベーションを創生できるグローバル・リーダーを育成するプログラムを提案するため、相互に関連する 3 つの研究開発を行います。Ⅰ. 地域から世界へと発展する一貫した課題研究カリキュラムの開発、Ⅱ. 課題研究の質を高める外部資源活用方法の開発、Ⅲ. 課題研究の基礎をなす既設教科の内容と方法の改善 (教科の SGH 化) です。これらの研究開発を進めるため、生徒に対しては 4 つの課題研究を設定しました。「地域課題研究」、「異文化研究」、「グローバル提案」、「グローバル・キャリアパス」です。

本研究大会は 2 日間に分けて実施いたします。1 日目は、昨年度に引き続き課題研究「グローバル提案」における「模擬国際会議」の授業を公開し、本校の取り組みについての中間総括を報告します。

2 日目は、国語科・地歴科・数学科・理科・保健体育科・英語科における「課題研究の基礎をなす既設教科の内容と方法の改善 (教科の SGH 化)」の実践を公開します。また、SGH 事業も 3 年目となり、SGH 校や SGH アソシエイト校では様々な取り組みがなされています。今回の研究大会では、これらの学校のみならず、探究型学習を実践している学校、あるいは今後、探究型学習の推進を計画している学校の先生方にご参集いただき、各校の創意工夫を共有し課題克服の手立てを討議するラウンド・テーブル型の協議会を実施したいと考えております。忌憚のない意見交換ができるよう 1 日目夕刻には懇親会も用意いたします。

本校の SGH 事業は、本年度、3 年間の一貫した課題研究カリキュラムが一応の完成をみました。本校の実践に対するご批判、ご教示を賜り、より良い事業に育てていきたいと考えております。また、本研究会を通して SGH 事業の発展と普及に貢献できればと存じます。つきましては、公務ご多忙の折とは存じますが、貴校・貴職の先生方に多数ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

1. 主 催 金沢大学グローバル人材育成推進機構 金沢大学附属高等学校
2. 日 時 平成 28 年 11 月 18 日 (金)・19 日 (土)
3. 会 場 金沢大学附属高等学校 〒921-8105 金沢市平和町 1 丁目 1 番 15 号
TEL (076) 226-2154 (代表) FAX (076) 226-2150

4. 日 程

11月18日（金）

12時00分 受付開始

13時00分～16時00分 グローバル提案「模擬国際会議」公開授業

16時10分～16時40分 グローバル提案「模擬国際会議」授業整理会

16時40分～16時45分 管理機関挨拶

（柴田 正良 金沢大学グローバル人材育成推進機構 SGH 特区教育センター長・教育担当理事）

16時45分～17時00分 実践報告 金沢大学附属高校 SGH 中間総括

17時30分～19時00分 懇親会

11月19日（土）

8時45分～9時35分 公開授業（国語科・地歴科・数学科・理科・保健体育科・英語科）

9時50分～10時30分 公開授業整理会（国語科・地歴科・数学科・理科・保健体育科・英語科）

10時45分～12時40分 SGH・探究型学習についてのラウンド・テーブル協議会

12時40分～12時45分 閉会行事

5. 概 要

11月18日（金）

(1) SGH「グローバル提案」模擬国際会議（2年生）

2年生が世界14か国の立場になりきって、「食料安全保障—2050年の世界をどう養うか—」というテーマで模擬国際会議を行います。地域課題研究・異文化研究で培った力に加え、今回は交渉し、合意形成していく力を存分に発揮することと思います。楽しく総合的・主体的・協働的な学びをしている生徒をご覧ください。

(2) 実践報告「本校 SGH の中間総括」 山本 吉次（研究企画部主任・学内教頭）

本校は、SGH 指定以降、26年度から1年生実施の「地域課題研究」「異文化研究」、27年度から2年生実施の「グローバル提案」を研究開発し実践してまいりました。本年度は3年生対象の「グローバル・キャリアパス」を実践し、年次進行で開発してまいりました課題研究カリキュラムが完成します。本報告では、これら3年間の取り組みを、本校 SGH 事業の特徴を中心に中間総括いたします。

(3) 懇親会

時間：17時30分～19時00分

会場：本校有朋館

会費：2,000円（別途 徴収させていただきます。）



平成27年度 グローバル提案「模擬国際会議」

11月19日

(1)「教科のSGH化」公開授業

学年	教科(科目)	内 容	授業者
1年	国語科 (現代文)	「探究チャート」を用いて小説を主体的に読むことで、主題にせまります。教員の「問い」に対して生徒が「仮説」を立て、その「仮説」を生徒が一つ一つ検証していく授業です。	岡 かなえ
1年	英語科 (コミュニケーション英語Ⅰ)	「垂直農業」を「2050年問題」という観点から掘り下げていきたいと思います。本トピックはそのまま本校SGH課題研究に直結していますが、本時ではそれに向けた基礎知識の教授だけでなく、現行の受験につながる協同スキルの向上を目指します。	真木 啓生
1年	保健体育科 (保健)	世界中で問題となっている「感染症」。その中でも、性感染症について取り上げ、実験を通して目では見えない感染を理解させます。感染症を身近な問題として捉え、感染予防・拡大予防策を考えさせる授業を展開します。	丹内 周子
2年 文系	理科 (物理基礎)	電気分野(回路の電流・電圧・抵抗・消費電力)の授業を行います。授業の前半は普段通りの授業を行い、後半はILD(Interactive Lecture Demonstration)の手法を取り入れ、電気分野における生徒の素朴概念の変容を目指した授業を提案します。	渡會 兼也
2年 理系	地理歴史科 (地理A)	「中東諸国の近代化とオイルマネーの役割」をテーマに、中東諸国の社会・経済の基本構造を学び、地理的視点から中東の様々な紛争の根源的な原因を明らかにします。	高橋 栄一
2年 理系	数学科 (数学Ⅲ)	数列の極限のまとめとして、書き並べられた数列から漸化式を導く漸化式型の数列の極限の問題を扱います。グループワークを適度に含む普段通りの授業とします。	大島 崇

(2) 探究型学習についてのラウンド・テーブル協議会

SGHは事業開始から3年目に入りました。この間、SGH校やSGHアソシエイト校など探究型学習を実践している学校からは、様々な先進的な取り組みが報告されています。本協議会では、少人数によるラウンド・テーブル型の協議会を実施することにより、各校の創意工夫や課題克服の手立てについて、じっくり討議する場を設けたいと思います。この協議については、カリキュラム研究の専門家、多くのワークショップ型研修会を指導されてきた鳴門教育大学村川雅弘教授から総括をいただきます。

・助言者 鳴門教育大学 むらかわ まさひろ 村川 雅弘 先生

1955年兵庫県生まれ。鳴門教育大学教授。専門は教育工学、カリキュラム研究。日本カリキュラム学会理事、日本生活科・総合的学習教育学会理事、日本教育工学会理事、文部科学省教育研究開発企画評価協力者、文部科学省中央教育審議会生活・総合的な学習の時間ワーキンググループ委員(平成27・28年度)。主な編著書は、『実践!アクティブ・ラーニング研修』『「カリマネ」で学校がここまで変わる!』『学びを起こす授業改革』(いずれも、ぎょうせい)

6. 会場への順路

(1) JR 金沢駅から

- ・バス： 東口北鉄バスのりば⑩番から「平和町」「金大附属学校・自衛隊前」方面行き（20番・21番・22番・25番系統）に乗車，「金大附属学校・自衛隊前」で下車。（約30分，バス料金240円） * 「平和町」行きの場合は，終点「平和町」より徒歩3分。
- ・タクシー： 平和町・金沢大学附属高等学校まで（約25分，料金約2,500円）

(2) 自家用車

北陸自動車道・金沢西インターより，西インター大通り（野田専光寺線）を直進。（約30分）
山側環状道路をご利用の場合は，野田町西交差点から北に入り，最初の信号（野田町交差点）を寺町方面へ左折してください。（駐車場は校内にあります）

(3) 宿泊 各自ご手配下さい。



7. 参加申し込み

申し込み用紙をコピーして必要事項をご記入の上，平成28年11月9日（水）までに，郵送（必着）または FAX，メールでお申し込み下さい。申し込み用紙は本校ホームページ（URL <http://partner.ed.kanazawa-u.ac.jp/kfshs/>）からもダウンロードできます。（参加費不要）

◎ 申し込み先

金沢大学附属高等学校研究企画部
〒921-8105 金沢市平和町1丁目1番15号
TEL (076) 226-2154 FAX (076) 226-2150
E-mail kokojimu4@kfshs.kanazawa-u.ac.jp